



第2回

千代田まつり

—今、郷土への讃歌—

11月6日・7日

- 町民グランド
- 町民体育館
- 開発センター

千代田まつり実行委員会

第11回 文化祭

テーマ

すていじ

—この町を土台にして—

10月30日～11月7日・13日

千代田町青年連合会・中央公民館

千代田まつり

昭和54年10月、町民待望の千代田インター開通と共に、第23回広島県農業祭が開催されました。

この成功を機に、翌年は千代田米まつりとして、米の生産及び消費拡大の推進等を中心に、昭和56年には新たに千代田まつりと名付け、町民のまつりとして第一回のスタートをきりました。

千代田まつりは、これまでの農林業を中心とした農業祭、米まつりから、対象を町内全産業に広げ、地域の振興と発展を期するとともに、併せて、その担い手である町民のコミュニティの場として開催するものです。

千代田町文化祭

昭和46年に産声を上げた文化祭は第11回を数えるまでになりました。

全国に文化祭といわれる行事は数多くありますが、青年連合会と中央公民館が共催し、中でも青年期にある若者達はその町の文化をまじめに考え、自らの可能性を求めながらも町民の文化祭たらんと精いっぱい演出していく千代田の文化祭は他に類を見ません。

青年期にこそできる責任ある行動を通して得るものは、青年自身の大きな人生の道標であり、わが町の未来でもあると思います。

千代田まつりは、町内のあらゆる産業と、町民の生活をより確かなものとし、発展させていくことを目的に、また千代田町文化祭は、人づくり町づくりの基本である心の豊かさを、求めてゆきます。

まちは、産業と文化という大きな柱がお互いに影響しあい、展開しながら、将来に向かって拓かれていかなければなりません。

千代田まつりと、文化祭を、それぞれの特色を生かしながら、一年一年よりすばらしいものにしていきたいものです。



ごちひあし **あんない**



第2回 千代田まつり

11月6日(土)・7日(日)10時から

今、郷土への讃歌

千代田まつりシンボルマーク
千代田まつりが町民のまつりとして親しまれ、郷土の発展に寄与することを願い、私達千代田に育ち、育てられる者の「心のよりどころ」の象徴としてとらえたものです。

本町産業の振興とその発展のため、又、古くから培われてきた伝統、文化を継承し、互いに労働と生産の喜びを分かち合うコミュニティの場とし、合せて良質千代田米の生産及び消費拡大を推進する。

催物

町民グランド

- 青空市場●果物野菜即売
- 農産物加工品即売
- 野菜品評即売会
- 子牛牧場●牛乳のみ放題
- 乳製品●牛肉即売
- わら・竹細工実演展示即売

- バザー●焼肉●酒試飲
- 交通安全コーナー●体力テスト
- 米鑑定競技●農機具中古市
- 町内商店商品展示即売実演会
- 自動車●農機具展示会
- 手作り木製品展示即売
- 赤い羽根コーナー

- たばこ●塩展示即売
- 電話機展示●利用相談

体育館

- 農林業を考える広場
- 町内企業製品展示

開発センター

- 農産物加工実演

行事

町民グランド

- 開会式(川戸千石太鼓出演) 6日 10時
- ミニSL乗車会 6日 10時～16時
- 太陽戦士サンバルカン 6日 15時
- ショー・撮影会 7日 11時・14時
- 町内子供神楽大会 7日 10時
(南方・八重東・八重西子供神楽出演)

- カラオケ大会 7日 13時
- 「千代田音頭」総踊り 7日 15時
- もちまき 6日・7日 16時
- 熱気球係留(晴天のみ) 7日 10時から
- 町内神楽発表会 6日 午後5時
開発センター

参加団体

千代田町、千代田町議会、千代田町農業協同組合、千代田町商工会、千代田町区長会、千代田町婦人会、千代田町農業委員会、千代田町農業共済組合、千代田町老人クラブ、山県森林組合、千代田町農協青壮年連盟、千代田町農協婦人部、千代田町青年連合会、千代田町農業問題研究会、千代田町酪農協議会、千代田町生活改善グループ、可部酒造組合千代田分会、千代田林業研究会、千代田町観光協会、千代田町教育委員会、千代田町中央公民館、千代田木材組合、千代田町農協具協議会、千代田農業改良普及所、広島県北部酪農協同組合、千代田町社会福祉協議会、千代田町民生委員協議会、広島県飲食料飲業環境衛生同業組合千代田支部、千代田電報電話局、千代田町たばこ小売人組合、広島塩販売組合地区会、(以上31団体)



千代田まつりあいさつ

千代田まつり実行委員会 会長

千代田町長 井 上 一 位



本年も度々の台風が、全国各方面で多大な損害を与えましたが、幸にして千代田町は大きな被害もなく収穫の秋を迎えることが出来ましたことを感謝する次第であります。このときに当りまして、昨年に続き第二回千代田まつりを挙行することと致しましたが、これは多彩な産業、文化行事を通じ本町の農業、工業、商業等に対する認識を深め今後その一層の振興発展のため、お互の連帯の強化、活力の発揚を期するものであります。時あたかも本町は、ハイウエー時代を背景として町勢の進展飛躍をめざし、町内各方面の特段の活躍が期待されて居ります。郷土の自然と生産のめぐみに感謝しつつ伸びゆく千代田建設のため、この千代田まつりが盛大且有意義に行われますことを念願してやみません。

最後に、この事業に参画御協力を賜りました関係諸団体、関係者各位に対し

心よりお礼を申しあげましてごあいさつといたします。

千代田まつり実行委員会 副会長

千代田町農業協同組合長 佃 昭 信



山波ハイウエーの大きな坂を下ってゆくと、ひろびろとした展望がひらける。車は円を描きながらインターチェンジの中に入ってゆく。「あゝ、千代田町…」といった感情が湧く。目の前にひろがる田園地帯、「文化財の郷千代田」の看板が目につく。

千代田町は昔から米の産地として栄えてきた。文化財もそうした関係のものが多い。また祭に関係したものも多い。労働のつらさ、収穫の喜び、神への感謝の気持から祭は発生している。祭という字は、夕べに火を示すといった文字の構成から出来ている。夜という神秘性の中で人のエネルギーが燃え感謝と喜びの心を示す。

千代田町のまつり「千代田まつり」が、ここ二三年定着してきている。米を取巻く状況、生活様式が変わって、爆発的な収穫の喜びは感じられなくなったが、連帯を強調し、町をあげてのまつりにしようとする努力が重ねられている。

今年の千代田まつりは「今、郷土への讃歌」というテーマで行われる。郷土は、千代田町に住むものも、離れているものも大切に思わないものはない。郷土がいかに発展し、豊かになるかを願わずには居られない。農協の立場で言えば「農業地元産業に支えられた村づくり、人づくり」で、心豊かな地域がつくりあげられてゆくことである。

山波ハイウエーを下って展望する平野が、生産に満ふれ、町全体が喜びで表現された祭になることを願わずには居れない。

千代田まつりあいさつ

千代田まつり実行委員会副会長
千代田町商工会長 上川 竜 男



第二回目を迎えます千代田まつりも町内各種団体の協賛を得て意義深く盛大は行うことが出来ますことを大変嬉しく思います。

一年々々の積み重ねがやがて歴史を築き千代田の将来へ大きく羽ばたく「まつり」となることを町民の皆様と共に期待してやみません。近年にない世界的経済の不況は、日本の隅々までおしよせて来ました。千代田も選にもれず不況の波がおしよせています。米国の高金利政策と経済不況による倒産失業問題等々もありますが、日本経済の危機が円安の一つの原因とまでいわれています。日本の経済収支の悪化、財政赤字問題の解決等「決めて」にいかなる決断をするか大きな課題と思います。

こうした情勢の中で商工会としてはこの機会に商業部門では消費者の皆様へ期待できる商業の活性化を図り又工業部門では町内各企業のPRと存在をご理解いただくチャンスと思います。建労部門では手作り製品を展示、昔からの町民の智慧を再確認していただきたいと思います。

農商工一体論の通り千代田町は今や農協と商工会が一丸となって田園都市構想の建設に邁進しなくてはならないと思います。

「まつり」には千代田町を離れて活躍しておられる皆様方も全員千代田へ帰っていただき、「千代田まつり」を通して千代田町が将来ますます発展しますことを望んでやみません。

千代田町議会議長 福 光 重 季



本年ほど不順の天候はありませんでした。悪条件を克服して一心に作った米も秋の深まりと共に収穫も終らんとしています。いま町民が一丸となって前回の教訓をふまえて「千代まつり」が盛大に挙行され、住民の労働と生産の喜びを分かちあい其の成果を発表し、「あすへの活力ある出発」にすることが出来るならばこんな意義ある祭は他にないのではないのでしょうか。老人達が汗と血で築き上げたこの温かい古里、世情万物とも有為転変、今こそ「ふるさと」を愛する心を育て、新しい時代への即ち、千代田町が標榜する内陸拠点都市として、田園都市として調和のとれた町造りに生気をよび活力を生むことの「まつり」になることを念じてやみません。

このたびも子供も青年も女も老人も一体となり、又実行委員会三十一団体の連帯と協力により活力にみちた郷土づくりのため、町内の各種産業生産物が、はたまた古くから培われてきたもろもろの伝統芸術、日々新たなる文化の香りが、一万人の町民コミュニティ広場に繰り広げられることは、二十一世紀を展望した、まさしく躍進千代田町のたくましい姿を象徴するものであることを固く信じて疑いません。「ふるさとの山はありがたきかな……」愛する千代田「温かい血のかよった千代田」を目ざして一丸の躍進を計ろうではありませんか……。前年に引続いての画期的大行事である「千代田まつり」に参画された関係者各位のご労苦を謝し、盛大にして有意義、そうして明日への大きな力となることを念じてやみません。

豊かな未来を めざして

展示内容

体育館

農業再編対策

圃場整備 転作作物 新しい農地制度、農業共済制度、良質米づくり、土地の有効利用、優良肉用牛飼養農家事例紹介、野菜作型経営紹介、その他

林業コーナー

- ・分収増林のすすめパンフレット
- ・林業経営合理化指針パネル
- ・マツクイムシの生態パネル
- ・技打機、ロボット、木登機リモコン実物展示

千代田木材組合展示

千代田林業研究会展示

町民グラウンド

ハウスリース実物展示及び軟弱野菜の紹介、和牛、乳牛の実物展示

団体紹介

千代田町農林業技術者連絡協議会

(千代田町技術者部会)

千代田町技術者部会は、本町の農林業経営を近代化し、農林業総生産の増大を図るため、農林指導及び技術面の一本化を行い、もって、農家所得の向上を図ることを目的に水稲、園芸、畜産、林業の各部会を構成し、活動しています。

技術者部会構成団体

- 千代田農業改良普及所
- 千代田町農業協同組合農産課
- 千代田農業委員会
- 千代田町役場産業課
- 千代田地方家畜診療所
- 広島県北部酪農業協同組合
- 山県森林組合
- 千代田町農業共済組合
- 千代田町木材組合

千代田町木材組合は昭和35年4月発足、町内19業者で構成し、それぞれ素材生産・製材・建築資材の生産等を行っています。

- 千代田町林業研究会

千代田町林業研究会（林研グループ）は昭和51年発足、現在14名の会員で林業技術・経営の研究、技術交換会、研究発表会及び講習会の開催などを行っています。自主的なグループ活動を推進し、林業技術・林業経営の研究改善により、地域社会に貢献したいと思っています。

催物・団体紹介

米の鑑定競技・農機具中古市ほか

千代田農業協同組合 組合長 佃 昭 信

- 千代田町農協は、昭和43年3月発足し、現在、2485人の組合員、118人の職員により、組合員の「健康で豊かな暮らし」を願い、営農を中心として多くの事業を行なっています。
- 千代田まつりでは、体育館内の「農林業を考える広場」において、営農関連事業の展示等を行い、町民グラウンドにおいては、日頃みなさんのご協力に感謝して子供さんから、お年寄まで楽しんでいただける数々の催物を用意しています。これを通して、千代田町農協の諸事業について、理解を深めていただきたいと思います。

町内商店商品展示即売・実演

千代田町商工会商業部会・千代田ファミリーシール部会長・理事長 横 田 正 明

- 昭和56年9月発足、加入者248名。地区内における商業の改善発達を図ることを目的として、各種講習会・視察研修の実施、情報の提供、商店街活動としての大売り出し等を実施しています。
- 今年はじめての参加ですが、日頃のご愛顧に感謝し、仮設店舗で商品の展示・即売と実演を行います。又、ファミリーシール会では期間中、会場において、すばらしい商品との交換も行いますので、お気軽にお立寄りください。

手作り木製品の展示・即売

千代田町商工会建労部会 部会長 内 藤 健 二

- 昭和42年発足、会員数124名。会員の建築技術の向上と、会員の福祉向上及び親睦を図ることを目的として、技術講習会、教養講座、ソフトボール・バレーボール大会などを行なっています。又ボランティア活動として、年1回町内一人暮らし老人宅の修繕を行い、よろこばれています。
- 手作りの巣箱、まな板、風車（もぐら除け）、かけや等を展示し、希望者に安くおわけします。仕事の合間を利用して、心をこめて作ったものばかりです。是非ご覧いただき、いつまでもご愛用ください。

カラオケ大会

千代田町商工会青年部 部長 沖 繁 健 一

- 会員数27名。商工会青年部は、役員・地域開発委員会・レクリエーション研修委員会・広報委員会の各組織にわかれ、各事業を分担して推進活動を行っています。それぞれが行なう事業としては、ボランティア活動・情報交換会・広報誌発行・各種ソフトボール大会への参加、講習会、町行事への参加、研修及びレクリエーション等があります。
- 千代田まつり会場において、参加団体関係者及びご来場の方々に参加をいただきカラオケ大会を開催します。飛び入りも大歓迎ですからどしどし参加してください。

もちまき

千代田町区長会 会長 奥 田 貞 男

- 昭和30年4月発足、構成員は町内行政区長64名。区長は、千代田町の非常勤特別職と規定されていますが、その事務内容は行政全般にわたり、広汎多岐、また推せん母体が行政区民であるため、地域、団体役職の充職が多いことも特色です。年度はじめの定例及び臨時の総会をはじめ、区長代表者会、地区単位区長会を開催して行政と町民の接点、コミュニケーションの中心核として、区長事務の研修と連携につとめています。
- 区長会では、主会場町民グラウンドの中央ぐら台からのもちまきで、千代田まつりに花を添えます。今年のもちまきは、壬生地区区長会が担当します。みなさんのご参加をお願いします。

バザー・千代田音頭、大広島音頭

千代田町婦人会 会長 立 川 澄 子

- 昭和30年4月発足、会員数2072名。町内9支部を基盤に、会員相互の連絡・研修・親睦を深め、学習会及び研修会、広報「婦人会だより」発行。「千代田まつり」「文化祭」への参加、保健衛生事業及び福祉活動の推進等の年間諸行事を通して婦人団体として地域で果す役割をみんなで考え、明るく住みよい町づくりに努力しています。
- 今年も、婦人会バザーで、「おふくろの味」をご賞味下さい。湯茶を用意した「お休み処」も設けてお待ちしております。又、踊りには、会員はもちろん、男性、子供さんも一つの輪（和）になって踊ってみませんか。参加することによって、一層楽しみがますと思います。

わら・竹細工展示即売、作り方教室

千代田町老人クラブ連合会 会長 前 原 弘 三

- 昭和39年3月発足、会員数1200人。人口の高齢化が急速に進み、老人の生きがい対策の充実が唱えられている中で、町内20単位のクラブで組織している連合会では、教養の向上、健康増進、レクリエーション及び地域社会との交流を目標に、若年層との交流会、社会奉仕活動、宗教研修会、スポーツ大会等の行事を行なっています。
- 会員の手作りによる作品は、文化祭において展示しますが、このうち、おわけできるものについては、千代田まつりで展示即売します。又、農協と共催で、わら・竹細工の作り方教室を7日午後会場で開催しますので、是非おいでください。

催物・団体紹介

青空市場(野菜・野菜加工物) ポン菓子加工即売

千代田町農協青壮年連盟 委員長 中野 芳信

- 昭和29年発足。会員数30人。各農業団体との連けいを保ちながら、協同活動の強化。年数回の研修会・スポーツ活動・視察等の実施、農協運動の先駆者・提言者としての盟友活動・米価要求運動・農産物自由化枠拡大阻止に対する運動などを中心に活動しています。
- 町内の生産者と消費者とを直結する青空市場を開催し、安く新鮮な野菜等を提供します。又米の消費活動と、米に対する認識を深めてもらうため、ポン菓子の加工即売を行ないます。

農産物品評即売会、暮しを見直す手作り展

千代田町農協婦人部 部長 竹下 富美子

- 昭和43年7月発足。会員数2025名。協同活動により、農村婦人の地位の向上をはかり、明るい豊かな農村社会を築くため消費者活動、健康管理活動、文化活動、営農活動を行なっています。
- 部員の丹精こめた農産物の品評会、また、「くらしを見直す手作り展」では、数々の農産物加工品、手芸品、廃物利用品等の展示即売会を行ないます。
- 特に、農産物加工品は、添加物のない手作りで、みなさまにおふくろの味を充分味わっていただけたらと思います。(即売品、つけもの・こうじ・コンニャク・たけのこその他)

千代田町酪農協議会

北部酪農協 会長 後 案 悟

“農産物自由化に思う”
黒船の来襲によって徳川政権は崩壊した。黒船さえ来なければ永久的に崩壊することはなかったろうと言われている。ところが日本経済は崩壊するどころか明治維新によって大きく発展をとげたのである。このところの貿易自由化の動きにはさながら黒船来襲の観がある。公正取引委員会も農産物は自由化すべきであるとの見解だそう。今後、農業の中心は水稲から畑作に移りコストの高い水稲耕作は継続できなくなるだろう。畑作は“考える農業”である。考える農業をやる者のみが生き残ることが出来ると思う。農業にとって明治維新前夜ともいえる今日、千代田町の農業はどうしたら発展するであろうか。産地間競争力をもつにはどうしたらよいか、みんなで知恵を出し合ってみようではないか。そういう“千代田まつり”であって欲しいと思っている。

野菜・くだもの展示即売

千代田町農業問題研究会 会長 岡 広 勲

- 昭和44年10月発足、会員数21名。農業後継者の各部門に関する問題点、課題等を出し合い、自立経営の確立をめざすとともに、町内における農業問題への取り組みを積極的に行なっています。毎月1回の定例会を中心に、年間行事計画に基づいて①会員の経営発表会、②千代田町農協、町長との会合、③堆肥学習会、④県ソフトボール大会への参加、⑤千代田まつりへの参加等の事業を行ないます。
- 会員自らの栽培による、今話題の中国野菜の展示即売やくだもの、野菜等の青空市を開催します。

農産物加工実演・加工品即売

千代田町生活改善グループ 代表 三 谷 ス ミ

- 昭和47年3月発足。会員数54名。「50万円自給運動の推進」-自給野菜の確保と手作り加工品の確保-を目標として、グループ員による共同学習会や、各グループによる技術交換会、生活改善先進グループの視察等を行なっています。
- 千代田町内で今年生産された新大豆による豆腐作りを実演(開発センター)即売(グランド)しますので、是非ご試食下さい。また、完熟したトマトを使ったトマトケチャップも併せて展示します。

酒 試 飲

可部酒造組合千代田分会 代表 小 野 宏

- 町内の三業者(上杉酒造・小野酒造・山縣酒造)で構成し、町内酒造業間の親睦を図りつつ技術向上と地域への貢献を目的としています。おかげさまで千代田の地酒は、町内は勿論、町外にもご好評を博しています。
- 千代田まつりでは、第1回に引き続き町内の地酒の試飲をおこないます。なお、今回は、チャリティー事業として、清酒グラスの売上げの一部は、善意団体へ寄附をさせていただきます。

農機具展示

千代田町農機具協議会 代表 大 谷 博 幸

- 昭和55年10月、町内農機具販売店6業者(岡本農機・千代田町農協・広島クボタ・広島農機・広島ヤンマー・広島キセキ)で結成。町内農家に対し、農機具の円滑な供給、農作業の安全と技術指導に努め以って農家経営の向上と会員相互の連帯を図ることを目的としています。農作業安全には特に使用前の点検を実行していただき町内から事故が発生しないよう指導を徹底して行きます。
- 協議会を構成している全業者で千代田まつりに参加し、農機具の展示即売会を開催します。町民の皆さん、是非農機具展示のコーナーへお立ち寄りください。年に一度の合同大展示会です。

催物・団体紹介

赤い羽根コーナー

千代田町社会福祉協議会 会長 沖 繁 男

- 昭和42年3月法人となり、全町民を会員として、町内における社会福祉事業の能率的運営と、組織活動を促進し、地域社会福祉の増進を図り、各種福祉団体の運営と管理を主要事業としています。
具体的には、①調査及び研究、総合的企画・連絡調整・普及連絡。②世帯更生資金貸付事業の強化推進。③共同募金への協力④心配ごと相談事業。⑤老人家庭奉仕員の派遣。⑥老人施設の管理—などを行っています。
- 千代田まつりでは、千代田町民生児童委員協議会と共に、赤い羽根共同募金事業の推進を行ないます。

赤い羽根コーナー

千代田町民生児童委員協議会 総務 砂 田 定 之

- 民生委員は、「社会奉仕の精神をもって保護指導のことにあたり、社会福祉の増進に努めるものとする。」と民生委員法に規定されています。千代田町民生児童委員協議会では、毎月定例会を開催し、事例研究、福祉制度の研究・活動内容の点検等をおこなっています。また、実態調査等を通して地域の実情を把握したり、心配ごと相談などに応じています。
- 「やさしさを隣人に—赤い羽根共同募金」共同募金は民間の社会福祉事業に必要な資金を集める募金です。この募金は施設・団体に配分されますが募金額の80%は本町に還元されます。期間中の御協力をお願いします。

焼肉コーナー

広島県飲食料飲業環境衛生同業組合千代田支部
支部長 柳 原 隆

- 昭和46年11月発足。会員数43名。千代田支部は、全国組織の下にあって、共済事業、広報活動等を行っていますが、なんと言っても、組合員同志が団結することによって親睦が生まれ、互いに助け合い、研究することによって、営業上の知識や技術が向上するものと思っています。その目的達成のため、千代田まつりにおいても「焼肉コーナー」パザールを開き組合員一同共に参加して、親睦を図って行きたいと思っています。
- 我々組合員は、料理に関しては、一同臆自慢の者ばかりです。日頃の御愛顧に感謝して、安くて美味しいものを食べていただく事をスローガンに頑張る皆様によるこんでいただきたいと思っています。

各種電話機展示・利用相談

千代田電報電話局 局長 松 浦 健 次

- いまある電話を二台で使う親子電話、1本の電話が2台3台で使えるホームテレホンF、相手の声が大きく聞こえるめいりよう等、今話題の各種電話機を展示します。
又、期間中、会場では電話の無料通話サービスの実施や利用相談も受け付けます。

たばこ展示即売

千代田町たばこ小売人組合 総代 西 原 義 人

- 「紫煙は、心のやすらぎ」をキャッチフレーズとして、町内でたばこを販売している小売人22人で結成しています。たばこ消費税は、貴重な町財源で、昭和57年度は、約3000万円が見込まれています。たばこは町内でお買い上げください。
- 会場では、ティッシュペーパーやペーパーバッグを配布しながら、たばこの販売キャンペーンを行ないます。

塩展示即売

広島塩販売組合地区会 組合長 沖 繁 秋 三

- 昭和21年8月発足、会員は地区内、(山県東部・八千代)で35名。塩専売制度に基づき、公益専売として、全国一律に同一価格にて塩を販売する法に従い指定された小売人の組合です。
現在の塩・たばこ専売制度を廃止し、民営化するという論議について全面反対の考えで、消費者の方々の同調をお願いしています。
- 塩の使用方法についてのパンフレットを配布し、ポスターや、各塩種を展示して正しい使い方をPRします。

事業展示

千代田町木材組合 組合長 美 濃 豊 泰

- 「農林業で生きられる千代田を」
町、農協、森林組合、各団体、各生産業者、さらに地域ぐるみ—全町民参加のもと、生産から消費者の手に渡るまで、口に入るまで、すべてに生産者の有利さを活かし、全町民の知恵と能力を寄せ集めて、大手企業の歯のたたないように一貫した経営のシステム化を図っていこう。

町内企業・展示あんない

千代田町商工会工業部会

部長 中野 只雄

昭和45年3月発足、26企業。工場相互の連けいを保ち、地区内における工業の総合的改善発達を計り、もって千代田町の健全なる発展に寄与することを目的としています。

クレイン株式会社

クレイン㈱は昭和52年2月操業開始し、グンゼ㈱メリヤス事業部協力工場として創立いたしました。メリヤス工場としては最も近代的設備の工場と自負しています。社是「優良品の提供に徹し、社会に貢献する。誠意をつくして信頼の輪をひろげる。若さと創意をいかし世界の一流をめざす」で日々懸命の努力を続けております。製品は婦人用スリーマー、中児用スリーマーの生産が主です。工場規模は敷地面積5747m²、建物面積1681m²、保育所130m²です。従業員数95名、内男子5名女子90名の構成です。働く婦人が子供を保育所に預けて安心して仕事ができるのも特色の一つではないかと思っています。

有限会社中野石材工業所

1 概要

設立 昭和37年3月(創立25年)
資本金 5百万円
従業員数 23名
土地 1万平方メートル
建物 8百平方メートル

2 事業内容

石材採掘、加工、墓石、碑、建築用並びに装飾用石材、神社仏閣用石製品、灯籠、仏像等

3 特色

現今石材工業界の近代化に伴い、わが社もこの線に沿うべく、機械設備の体質改善、優良従業員の確保、技術練磨、内外産良質石材の安価導入、一貫生産、「信用を築き誠意を売る」をモットーとする全員結束の下に、良品の作成に精魂をかたむけている。

株式会社浅木砕石工業所

当社は昭和37年創業以来一貫して砕石生産を続け現在に至る。生産能力月産3万t使用電力900KW豊平町阿坂千代田町境界に位置し、破砕機は斯界最高水準を誇る新鋭機アリスチャイマーのハイドロコンクラッシャー1基及同社製のハイドロジャイレトリー1基を備え、品質管理には特に留意し粒度調整専用プラントを設備している。骨材原石は安山岩で建設省規格に合格する優良硬質岩であり製産品は路盤用補装用生コン用建設用で10種類を造り販路は豊平町千代田町大朝町安佐町芸地加計一円を有し特に芸北町経由島根県浜田市に出荷している。「良い物を安く早く」をモットーに生産体制を確立している。

岩崎工業株式会社

モットー

●企業は人なり、パワフルな力が創造するイワサキ

会社概要

- 本社、設計 広島市南区旭1丁目18番26号
- 千代田工場 広島県山県郡千代田町大字川東字久保1600
- 資本金 3,000万円
- 従業員 54名
- 営業種目
 - 各種金型及び治具の製造
 - 家電自動車工作機器等諸機械の製造
 - 家電自動車工作機器等機械設計施工
- 会社沿革
 - 大正15年4月 岩崎製缶所創立
 - 昭和31年4月 有限会社岩崎製缶所設立
 - 昭和31年4月 鉄工部増設(各種金型、治具、自動車部品製造)
 - 昭和36年1月 有限会社岩崎製作所に改名
 - 昭和43年1月 千代田工場完成
 - 昭和51年10月 岩崎工業株式会社に社名変更及び改組現在に至る。

モルテンゴム工業株式会社

昭和33年に設立し、本社を広島市横川新町1番8号におき、現在に至る。当社は、最新の設備と自社開発による合理化機械を駆使し、車輛用をはじめとする各種のゴム製品の需要にこたえている。特に球技用ボールについてはバレー、バスケット、サッカー、ハンドボールの国内は無敵のことで、国際的にも公認球として認められており、オリンピック並に各種競技に使用され「モルテンボール」は世界のブランドとして信頼され活躍している。

日本安全機材(株)千代田工場

昭和45年9月2日会社を設立。

(事業内容)

土木、建築、その他工事に関連した安全機材の製造販売

- (1) バリケード 各種
- (2) ガードフェンス 各種
- (3) 信号機、電光板
- (4) 標識その他の関連商品

西日本エム・テー・ピー株式会社

概要

所在地 千代田町壬生1888
 設立 昭和44年7月
 資本金 2千万円
 従業員 男36名女23名
 事業内容
 ウレタンフォーム製造販売
 自動車部品（バンパー、アームレスト、ヘッドレスト、エアダクト類）
 寝具加工品

特色

我国最初のウレタンフォーム専業メーカーとして終始バイオニア精神を発揮し、新製品と新用途の開発また自動車部品（マツダ車）、工業用品から家具インテリアなど、この種の会社では大規模な設備と総合的な組織力を誇っています。

株式会社タカキペーカーリー
 千代田工場

昭和45年5月、パン業界の注目を集めて、わが国で初めてというパンの冷凍工場として創業を始めました。その当時のパン業界だけは生鮮食品であり、生きものであるパンの性状からみて大量計画生産も長距離計画配送も不可能という常識が支配される中、当社の技術陣は、早くから業界の常識に挑戦し、着々と研究を重ね生きているパンを生地の段階で大量に如何に保存するかということでした。パンの歴史に新しいページを書き加えた。冷凍化の成功を見たのは研究を始めて10年の歳月を要しました。しかもこの技術革新は、単なるパンの流通機構の整備を目的としただけではなく、新鮮な焼き立てのパンを直接お客様にお届けできるルートの確立が基本なのです。

千代田装備工業株式会社

昭和48年2月会社を設立し、マツダ車のシート縫製、ウエルダー加工を事業内容としている。当社の方針としては、作業上において社員一人一人が、その持ち場において細心の注意を払い、個々に責任をもち、不良品を出さないという方針で有ります。

しかし、作業を離れますと、家庭的で和気合い合いと談笑し、くつろいでいます。今後共、マツダ車のシート製作に全員が努力して取りくんで行きたいと思っています。

桑本建材株式会社

当社は、千代田インターチェンジ東側1Kmに位置し、JIS製品である、生コンクリートを主体として、総合土木建築資材販売、各種ブロック製造、埋立造成、重機工事等、幅広く営業致しております。中でも、生コンクリート工場の設備能力は、最新鋭の機械を取り入れ原材料等も業界に、古くから、定評のある徳山セメントを中心に、充分吟味した良質な骨材を配合し、卓越した技術により、品質の優れた、レデーミクストコンクリートを製造供給致しています。一日の製造能力、500m³を出荷する事が出来又ブロック工場も自動化された機械システムにより、各種ブロックを製造し御要望により、現場まで運搬しております。このように、当社は、日本の国土開発の為に、日夜努力致しております。

広島瓦斯販売株式会社

沿革 昭和23年金物店を開業
 昭和29年プロパンガスの販売
 昭和38年1月現会社を設立
 規模 本店山県郡千代田町壬生
 資本金 800万円
 従業員数 25名
 工場・事務所 千代田町有田
 牧場 千代田牧場 120頭
 島根県大田牧場 250頭
 事業 LPガスの製造及高圧容器の再検査、LPガス、ガス器具電化製品、冷菓等の販売、ガス水道の配管工事、家屋増改築工事、番産経営、県地域防災指定事業所等多岐に亘って山陰山陽を結んで活躍している。
 特色 危険物を取扱う関係で保安の確保に重点を置き、スポーツを通じて地域との交流を深めている。

株式会社ニッショウ

(一)沿革 昭和44年6月自動車の板金塗装を業務として(有)千代田ボデー工場を設立以後自動車の分解整備事業を加え昭和54年11月陸運局長より民間車検場の指定を受け更に建設車輛機械の販売修理及リース並にレッカー作業の営業を開始し昭和57年9月1日社名を(株)ニッショウと改称し現在に至る。
 (二)規模 従業員総数20名、工場敷地総面積3千m²内屋内工場として自動車修理工場及完成検査場758m²建設機械修理工場450m²本社事務所70m²を有す。
 (三)営業サービスに関しては親切確実迅速をモットーに前記営業活動の外日本道路公団の指定を受けて中国自動車道の事故処理業務と共に一般の緊急時の故障車修理及事故車処理を24時間体制にて営業している。

株式会社フジウッド

●沿革
 “家具のフジカワ”で愛され親しまれている。藤川木工製作所が多様化する家具業界の将来を展望し、昭和50年9月1日千代田町南方に開設した。家具部品製造販売会社である。
 ●規模
 資本金千2百万円、土地6千6百m²、建物2千m²の企業である。
 ●事業
 主製品は親会社フジカワのタンス部品であるが、最近当社の卓越した製品が全国の業界の注目を浴び面縁類の注文が殺到し現在外注の方面にも手を広げ日夜がんばっております。
 ●モットー
 ①財産となる家具づくり。
 ②良品を確実に。

町内神楽発表会

(千代田町観光協会)



11月6日(土) 午後5時
開発センター

午後5時開演

- | | | |
|------------|----|------------|
| 1. 神降 | 新舞 | 曙神楽団(川戸) |
| 2. 戻り橋(前編) | 新舞 | 東山神楽団(石井谷) |
| 3. 子持山姥 | 新舞 | 曙神楽団(川戸) |
| 4. 滝夜叉姫 | 新舞 | 春木神楽団(春木) |
| 5. 日本武尊 | 新舞 | 川東神楽団(川東) |
| 6. 日本武尊 | 旧舞 | 上川戸神楽団(川戸) |
| 7. 紅葉狩 | 新舞 | 中組神楽団(本地) |
| 8. 八岐大蛇 | 旧舞 | 砂庭神楽団(壬生) |
| 9. 葛城山 | 新舞 | 八重西神楽団(寺原) |

午前0時終了予定

恒例の神楽発表会も、今年で第5回を迎えます。昨年から、町内18団体の神楽団を2年に分けて出演していただくこととし、今年はその内、8団体による発表会を開発センターで開催いたします。

神楽は、地域の人々が共有する財産であり、私達の祖先のたゆまぬ努力によって、現在まで伝えられてきました。最近各地において、神楽大会がさかんに催されていますが、このことは、とりもなおさず、急激に変化する現代社会の中で、人々に安らぎとうるおいを与える「ふるさとの心」が神楽にこめられているからといっても過言ではないでしょう。

神楽団員は、地域の人々に支えられながら、きびしい練習を通して、神楽の技を精いっぱい披露します。私達も出演者とひとつになって盛りあげたいものです。

文化祭ごあんない



《日程と内容》

10月30日～11月7日（9：00～16：00）

展 示

10月31日（第1回14：00より，第2回19：00より）

映 画

11月2日～3日（出発午前2時）

ナイトウォーキング

11月5日（19：00より）

陰陽太鼓まつり

11月7日（9：00～15：30）

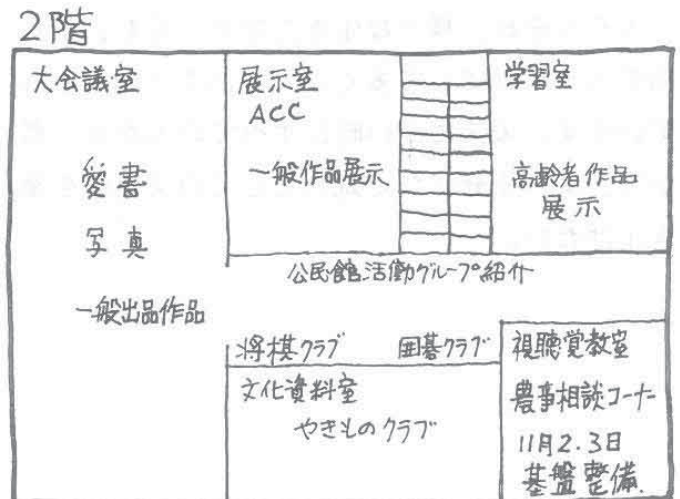
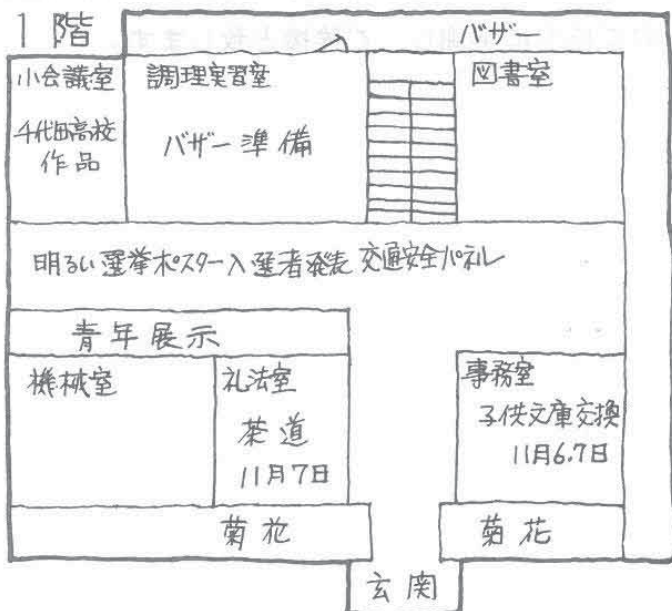
当 日 祭

11月13日（19：00より）

コンサート

《展示会場案内図》

中央公民館





第11回文化祭実行委員長
千代田町青年連合会長

菊川 敏

文化祭をすすめる中に、これ程多くの課題があるとは思いませんでした。第1回の文化祭が生まれ、回を重ねる中に1本のレールが敷かれている様に見えたのは、幻のレールであったと今感じています。

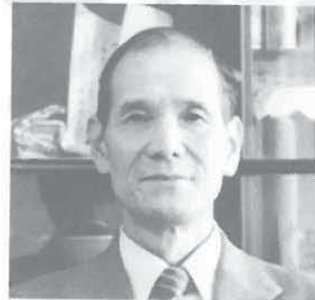
それは、1年1年、よりすばらしい千代田の文化祭を願い、より多くの感動をもって形造ろうとすればする程、その1年1年が第1回であったと思わずにはいられないからです。

第11回と一口に言いますが、ここまでは数え切れない、先輩達の努力と、計り知れない願いが重なって文化祭の歴史があるのです。

このたび、すていじーこの町を土台にしてーというテーマをもって、文化祭に挑みました。

生まれ、育ち、めぐり合う時代の中で、精いっぱいこの地で拓いて来た私達の先祖、そして私達。

人それぞれ、様々な生き方であっても、千代田をステージにして多くの人生がくり返えされています。未来に向い町民すべての人がより豊かで、より幸せになる基点としての文化祭を築き上げたい。



千代田中央公民館長

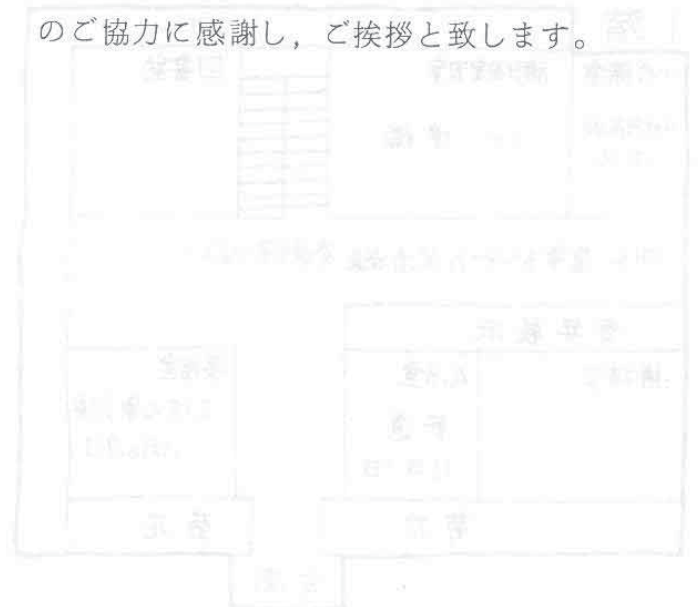
増本 利明

第11回千代田町文化祭が、「すていじ」（この町を土台にして）をテーマとして、極めて盛大に挙行されますこと、誠に御同慶に存じます。

人間生活は、社会の1単位である家族と、その集合である社会とで成立っており、そして夫々の文化の中でこそ、人々はバランスある生活が可能で、個々の人が集積した経験や知識は家族の中で伝授され受容されて行くものと、社会に吸収されて社会文化となって行くものと両方があります。子育てや躾など、すぐれた体験的なものの多くは、家族情報によって伝えられその家族文化となって行くものでしょう。

誇るべき千代田町文化も、個々が家族が演ずる「すていじ」のひとつひとつの演出につながっていることをおもい、大切にしたいと思います。

最後に、青年会の皆さんをはじめ、町民各位のご協力に感謝し、ご挨拶と致します。



第11回文化祭記念



早いもので文化祭も今年で11回目を迎え、今回実行委員を勤めるにあたり、昨年のテーマ「原点」が意味深いものとなり、初心にかえり新たな気持ちで、これから又20回を目標に、第11回文化祭を十分に盛り上げ、土台づくり、つまりテーマのごとく我々のすていじとなるように取り組んで行かなければなりません。

さて、我々、実行委員会では、今回千代田町文化祭記念マップを作り、町内の方は元より広く町外他県の方にも、千代田町を知ってもらうため、一目で千代田の町の様子が解り、日常使えて、未長く残る物である様に、バンダナにマップをプリントしました。このマップの中に千代田町の青年一人一人の千代田町及び、文化を思う熱い心が表われていることを、マップを手にした方々に解ってもらえる様に強く望んでいます。

千代田高校郷土史研究会

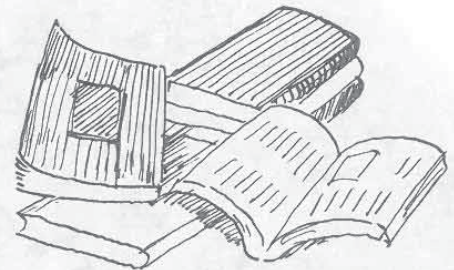
去年、先輩達が郷土の歴史を調べたのを受継いでいます。去年のメンバーは6人でしたが、今年は15人います。今回は、縄文、弥生、古墳時代をテーマにとりくんだ内容を報告します。当時の人々の生活を少しでも身近に感じようと、自分達で縄文土器を作って、実際に卵や貝やじゃがいもを煮て、見事に成功しました。(しかし、縄文土器をそっくり再現したというよりも、形をかなり自由に作ったし、焼き方も野焼が出来なくて、学校の焼却炉等を使って焼きました。) 又、千代田町を中心に、大朝町、芸北町、豊平町の遺跡も調べてみました。内容は不十分なものですが、みんなで力を合わせて取組みました。ぜひ見に来て下さい。



中学校読書

私達の「読書会グループ」の出発点は、中学校PTA文化部の活動の延長の上にあるようです。

近頃の子供達は、読解力が弱い。それは読書の習慣がないから、なんとか読書の習慣を身につけさせたい。ということから、先ず、親が読書する姿を見せよう。その先頭に文化部長からということからです。現在会員10名のなかの4名の人達がその人達です。別に高尚な理屈から生れているわけではありません。今やっていることは、月に一冊程度の読書をしています。そして月に一度ぐらい「読書感想会」というのをやっています。これは会員全員が同じ本を、各家庭で読んで適当な日に感想を述べ合うのです。本のなかみ半分、人生談議世間話し半分です。結構有意義で楽しんでいます。「ロハ」で本が読んでみたい人、たまにおしゃべりがしてみたい人、遠慮なく入会下さい。



やきものクラブ

岡本先生の熱心なご指導のもとに会員一同今年も心をこめて製作に取り組んで来ました。拙い作品ですがどうぞ御観賞下さい。今年は千代田町に生産の少ない民芸品の一端として参考になるのではと協同作品を製作してみました。ACCクラブに協力して頂き絵付の方はちょっとしたものです。皆様のお気に召す物が有ましたら、千代田祭の「やきものコーナー」の方でお求め下さい。やきものの心を知るにはまず作ってみる事が近道だそうです。

入会希望の方公民館へ!



アーティストクラブチヨダ

なんとなく、ちょっと寄ってみたいから、人が行くから、暇だから、好きだから……話をしたい人、筆をとってみたい人、アーティストクラブ、チヨダへ来んさい。

今年で11年目を迎える事が出来たこの集りは、デッサンをする人、油絵を書く人、デザインをする人、いろいろな方法で自分とゆうものを表現しています。感動を伝える方法は多くのものがありますが、その中で絵を描くことにより相手に伝える意味は大きいと思います。あなたも一つの表現方法としてACCで描いてみてはどうですか。雑談も楽しいですよ!





碁基クラブ

てそや書架

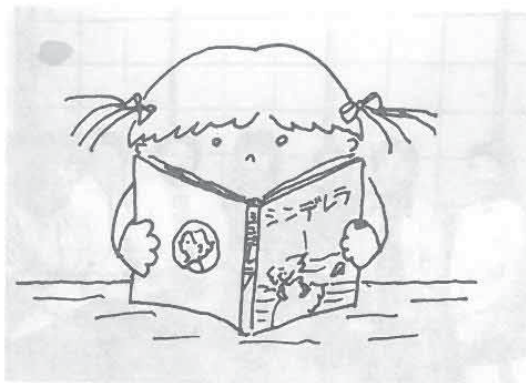
碁基クラブ発足以来早くも8年余の才月が過ぎた。会員も次第に増加し対外試合も度々行なわれた。千代田町の人々の親睦の輪をひろげ文化活動の一助になったと自負している。近來若い人々の会員も増加した。公民館を土台にして、他の文化活動の人々との融和を深めている。10月3日4町(甲田、千代田、美土里、吉田)対抗親善碁基大会が行なわれたが千代田町が優勝したのでお知らせします。今年の文化祭テーマ(すていじこの町を土台にして)は従来の各クラブ活動のあり方に反省を求め延びゆく千代田の発展を期し、明日への千代田のために人々の結びつきを強めようとの意味として受けとめている。



陶好会

懸兼てとそや

去年2月発会したやきものクラブもその作品を展示する文化祭が早や2年目を迎えました。作品技術の向上は素晴らしいがそれにも増して全員がオシャレリしながら和気あいあいにやきものを作るうちお互いが心打解け親睦を深めたことが何よりの収穫でした。発会時は会員17名今年は一一般老若男女多数の入会を得、現在31名に発展しました。年齢も昨年は55才~85才平均71才、今年は27才~81才平均65.8才。この様に会の隆生を見るとやきもの学習が如何に娯楽を生甲斐に適切かと思ひ皆様のご参加をお待ち申上げます。



こども文庫

日てそや書架

「おおきな木」皆さんこの絵本を読まれましたか…? 読まれた方はどんな感想を持たれましたか…? 幼児期から絵本の中に何かを感じて成長する。この感じを土台にして、7色のスポットライトを浴びながら大きな「すていじ」で愛を熱演する。この町から1人でも多くこの素晴らしい「すていじ」に立てる事を夢見ながら、私達は今年も頑張っています。文庫には3千冊余りの本がそらいボランティアの方々の協力で一段と大きな輪に広がっています。

1人でも多くの方の御利用をお待ちしております。



将棋同好会

てそや書架

すていじ今年のテーマ、誠に良い言葉と思います。文化祭始まって11回なんと早いものです。若い人達で毎年良いテーマを考えられてけっこうな事とぞんじます。文化祭も11回同好会も会員が段々と若人が多くなり盛会になりつつあります。中年以上の方は進歩もおそく早くあきる傾向が多分にあります。そこにいくと若い人はあきず、ねばりがあり研究熱心です。何度も申す通り若いと言う事は、ほんとうによい事で夢も多分にあり、私達老人にとってほんとうに羨しい次第です。私達老人も若人に負けぬようがんばりたいと将棋会の夜はがんばっています。今後もよろしく願ひいたします。

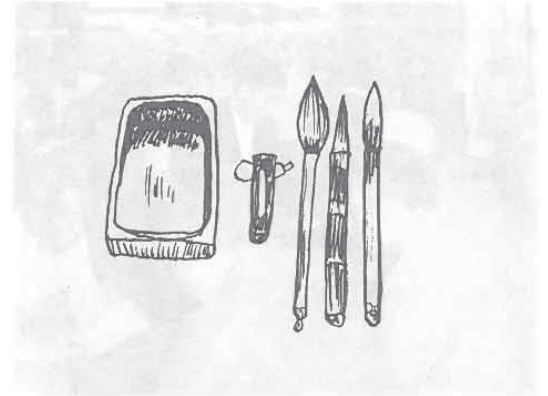
愛書クラブ

てんり書道

「正しく美しく」をモットーとしております日本習字を手本として、増広先生の指導により、毎月第1第3水曜日午後8時より2時間公民館にて学習しています。

学習内容としては、書の基本が根本であります。楷書、行書、草書はもとより中学隷書、篆書、かな等書道全般にわたっています。

お互い時間の暇はありませんが寸暇をさいて学習することも又楽しく生きがいを感じることではないでしょうか、皆さん老いも若きもふるって愛書クラブへどうぞ。



アマチュア無線

会秋國

別名千代田HAMクラブ(JA4YMR)。会員45名。活動の概要を申し上げます。

毎週月曜夜オンエアミーティングで無線による集会。毎月第3土曜日は公民館にて顔を合わせ研修とか打合せ。

春の花見又は泥落しは電波を離れていい。夏の全日本フィールドデーコンテストはキャンプして交信競技に汗を流します。秋はボランティア活動で奉仕。可部・吉田HAMクラブとのソフト大会は親善が目的。やがて新年宴会、スキー大会の援助もあって3月総会で年度が終ります。



茶道クラブB

朝又きろこ

自らの道をひろげ伸ばしていくために、私達は茶道を選びました。お点前の技術は遅々として進みませんが、素直な心、人に対する思いやり、心入れの作法を通して学んでおります。

文化祭には茶席を設けてお待ちしております。たとえ短い時間であろうとも、あなたとの出会いを大切に思います。一碗のお茶から人の和が生れるのが願いです。

どうぞ気軽にお立寄りください。



読書クラブ

会秋同財研

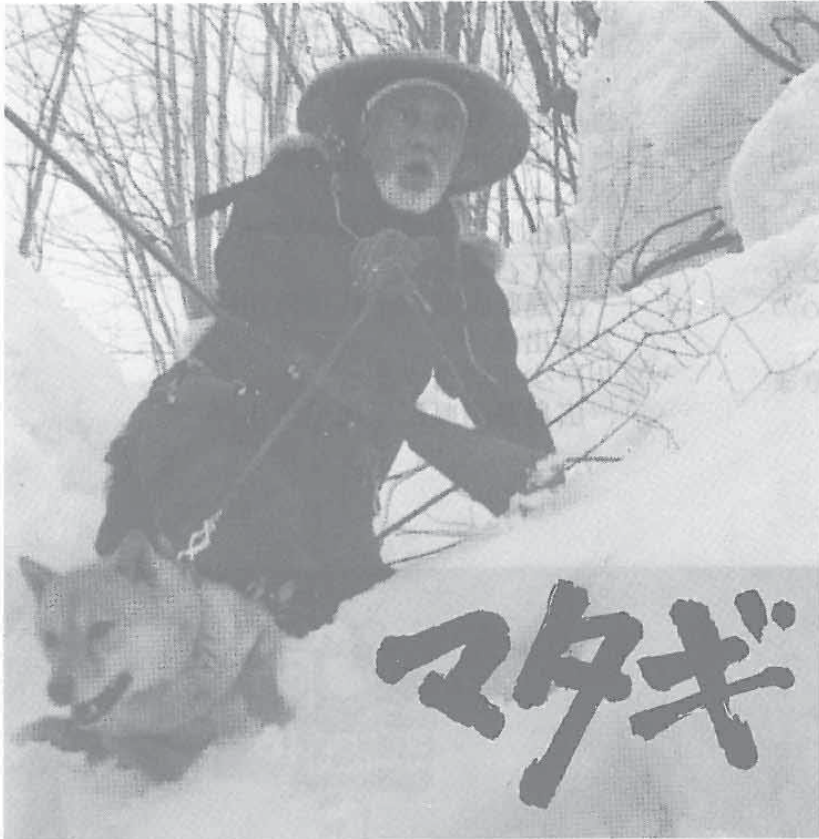
徒然草の一節に「ひとり燈の下に書をひろげ見ぬ世の人を友とすこそ、こよの慰むわざなれ……」とありますが、秋の夜長千草にすだく虫の音を聞きながら読書することは、昔も今も変わらぬわざと思えます。

私たちクラブ員18名は、月に1冊の課題本を手「忙中閑あり」の精神で楽しんでいる仲間です。月1回の会合には、何はさておき集合して話し合っております。——感想は勿論のこと時には話が脱線して、菓子づくりから時事放談まで飛び出し、竹村健一顔負けの世相談義——もはずむ此の頃です。

読書の目的は色々ありますが、先人や多くの人々の声を読みとり、私たちの人生を少しでも高められるなら幸いと努力しております。

最後に蛇足と思いますが、高齢化社会の現在、脳細胞の若さを保つには、読書が一番よいとされております。皆さん一緒に読書してみませんか。





協力
社会福祉協議会
青少年育成千代田町民会議

ナイトウォーキング

11月3日(水) 2:00~

— 千代田の雲海を見よう —

今年初めての試みとして、ナイト・ウォーキング（夜間歩行）を行います。
現在の車社会においては、自分の足で歩くことが少なくなっています。ただ目的地から目的地へ楽に速く到着してしまい、道中の景色も見おとしがちです。そのため身近かな変化も知らずに生活をしているのではないのでしょうか。
この度は、千代田町中央公民館より出発し、猿喰山へ登り、千代田の雲海を見ようということで計画しました。
「昔ゃあ、よう登ったが、今あ忙しゅうてのお………」という方もおられると思います。この機会に齢など関係なく、又自分の健脚を確認するためにも、参加されてはいかがでしょうか。それによって古きよき時代や、千代田の本来の姿を知ろうではありませんか。



農山村の織りなす厳しく、そして美しい情景は、今ここに栗田祐輔先生によって、数々の曲となり聞く人に厳しくもぬくもりのある郷製和太鼓を味あわせてくれます。

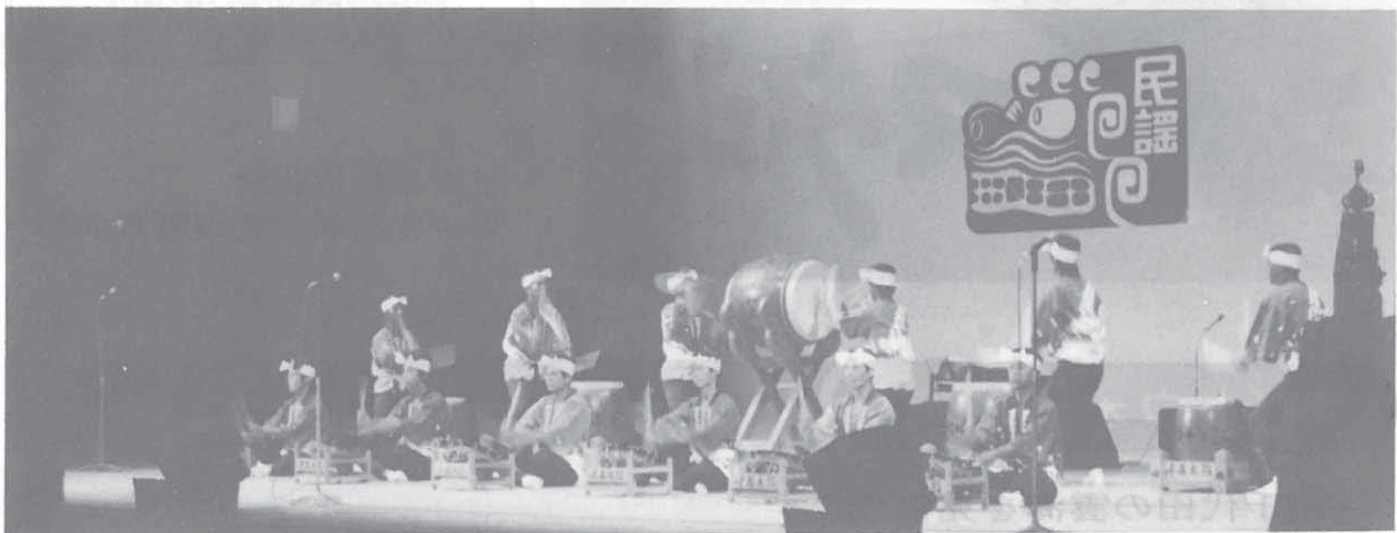
このたび陰陽太鼓連絡協議会を結成し、初めての合同演奏会を、陰陽太鼓まつりとして、開発センターで開催します。

私達はそれぞれの太鼓の演奏をより多くの方々に見聞してもらい、又一層の飛躍のための糧としたいと思っています。

皆様の御来場を心よりお待ちしております。

出演団体 (50音順)

- 出羽太鼓
島根県邑智郡瑞穂町出羽
- 雄鹿原太鼓創友会
広島県山県郡芸北町雄鹿原
- 鬼の木戸太鼓
島根県邑智郡石見町中野
- 川戸千石太鼓
広島県山県郡千代田町川戸
友情出演
- 川戸少年居合クラブ
広島県山県郡千代田町川戸



プログラム

- | | |
|--------------|-----------|
| 1. 序曲 | 鬼の木戸太鼓 |
| 2. 雪・吹雪 | 雄鹿原太鼓創友会 |
| 3. 序曲・出羽川の流れ | 出羽太鼓 |
| 4. 江ノ川の四季 | 川戸千石太鼓 |
| 5. (友情出演) | 川戸少年居合クラブ |
| 6. 出羽の四季 | 出羽太鼓 |
| 7. 雲・霧・雨・吹雪 | 雄鹿原太鼓創友会 |
| 8. 暮らしのうた | 川戸千石太鼓 |

プログラム

9:00	1	開	会	式	
	2	民	踊	いわきやっちき	県民踊協会本地支部
	3	〃		日本おめでた囃子	蔵迫民踊クラブ
	4	〃		亀居城春秋	県民踊協会千代田町壬生支部
	5	〃		南部踊	川戸民踊クラブ
	6	〃		黒田武士	壬寿々会
	7	〃		そんなあなたにほれました	八重西民踊クラブ
	8	〃		日本竹	石井谷民踊クラブ
	9	〃		新しげさ節	春本民踊クラブ
	10	民	謡	秋田節ほか	本条流なかよし会
11:00	11	箏	曲	六段の調べほか	井木智由紀
	12	ス	ライド	「すていじ」	壬生青年会
	13	銭	太鼓	安来節	南方喜楽会
	14	詩	吟	名槍日本号ほか	高令者学級詩吟クラブ
	15	民	踊	宜しくたのみます	県民踊協会本地支部
	16	〃		宇和島さんさ	蔵迫民踊クラブ
	17	〃		湯の町十三夜	県民踊協会千代田町壬生支部
	18	〃		三味線	川戸民踊クラブ
	19	紙	芝居	寺原のつりがね	八重青年会
13:00	20	民	踊	深川節	壬寿々会
	21	〃		田楽ばやし	八重西民踊クラブ
	22	〃		花笠月夜	石井谷民踊クラブ
	23	〃		新広島小唄	春木民踊クラブ
	24	劇		麦わら大蛇	本地青年会
	25	銭	太鼓	安来節ほか	あけぼの会
	26	民	踊	白浜音頭	県民踊協会本地支部
	27	〃		はるみの花笠ばやし	県民踊協会千代田町壬生支部
	28	神	楽	4人舞	女子神楽同好会
	29	民	謡	貝がら節	千代田民謡同好会
15:00	30	居	合道	居合道	
	31	尺八と琴		日本のわらべ唄ほか	都山流, 中野社中
	32	民	踊	そろばんおどり	壬寿々会
	33	コ	ーラス	浦のあけくれ	せせらぎグループ
	34	閉	会	式	

当日祭あんない

県民踊協会本地支部 代表 中村 ミヨ子

積み重ねた土台の上に立つことは、
幸せなことである。私達は今小さなア
リの様に、土台を重ねつゝある、和と
輪をつなぐ民踊グループである様努力
したいと考えています。



蔵迫民踊クラブ 代表 藤本 祝子

昨年初めて文化祭に参加させて頂きました。他のグループの芸を
見せていただき、色々と勉強になり、励みになりました。あれから
1年、忙がしさの中に月2回のお稽古、職業の違い、年令の違いが
あっても、面白く、楽しく、お稽古をしまいいりました。お互に踊
る喜びがあってこそ、グループの心が一つになり、踊る姿も美し
いと思います。発表の場があることで、目的を持ってお稽古も出来
、楽しみだと思えます。今後も真心の触れ合う暖かいグループとして
頑張りたいと思えます。



県民踊協会千代田町壬生支部 代表 細山 静子

民踊は従来の日本舞踊の様な格式にとられることなく、その大
衆性庶民性が現代に受けつがれてきたものと思われます。私達も相集
って古い者は既に3年。踊りの良し悪しよりも相集うて一つのこ
とに集中できる、その時間の楽しさと充実感は何にも変え難い集いの
ひと時です。そうした意味から私達も広く皆さんの参加をすすめる
為にグループの名前も県民踊壬生支部と名乗って幅広いご参加を求
めています。老若男女を問わず上手下手を云わず、相集い楽しい充
実したひと時を求める皆さんのご参加を待っています。会場は現在
川西、上川東、下川東と持廻りをしています。これも参加者の便利
を考えての方法であります。



川戸民踊クラブ 代表 高橋 祥子

「この町を土台にして」千代田町民がほんとうに大事に未来へつ
なきたいものです。月日の過ぎるのは早いもので、57年文化祭がも
うきました。月1回の練習日、皆一生懸命僅かな時間の中で時のた
つのも忘れ無我無中。その間だけは自分のほんとうの幸せ。農家の
主婦は女と云う字さえ忘れ、男女の区別がつかないほど機械と共に
働いておりますが、しかしながら、民踊のおかげで、舞台での姿は
女らしさもうすれず今日があるのではないかと思います。

老若も皆で無理なく踊り、三味線を弾き、民謡を唄い楽しさと喜
びをわかちあいませんか。



壬寿々会

代表 川 本 千代子



月日が経つのは早いもので壬寿々会発足4年を迎える事が出来ました。ぼつぼつ気分がだれる頃ですが益々はりきって、今頃ではどちらが「生徒か先生か」と云った調子、それだけ熱心と申しませうか。皆さんの心が一つになった事でもあるかと思えます。昨年より会員も増え十八名となりました。お互いに自分の身になって助けたり助けられたり、端から見ていて涙が出る程ほほ笑ましい雰囲気です。

なごやかな気持ちの持ち主であればこそ、老いも若きも一体となり和も一層大きな輪となる事を願い、又地味でそして若さ、高齢化社会の今日、いついつまでも健康でありたいものでございます。

八重西婦人会民踊クラブ

代表 坂 本 伊勢子



広島県民踊師範小林広勝師匠の指導のもとに、今年も元気で文化祭を迎えました。今年は敬老会にも出演させていただきました。農繁期のさなかで思う様にお稽古も出来ず、会員の中にはお舅さん、お姑さんの出席もあり、出来不出来はともかく、ほっとして家に帰ると、「良くやった、良く出来た、楽しかった、涙を流しながら見せてもらったよ」と喜んで話して下さったとか、稽古の苦しさも疲れもふきとんだそうです。この話を聞き、各自技術の未熟は反省しながらも喜んでいただけたことに満足し、「民踊を習って良かった。」と思ったものです。

「良くやった。」その言葉をかみしめ、文化祭に参加させていただきます。「参加して良かったね。」皆んなで話し合えるよう踊りあげたいと思います。

「良くやった。」その言葉をかみしめ、文化祭に参加させていただきます。「参加して良かったね。」皆んなで話し合えるよう踊りあげたいと思います。

石井谷民踊クラブ

代表 沖 川 和 子



味覚の秋と共に盛り沢山な行事、中でも文化祭は千代田町のシンボル。私達石井谷民踊クラブは、小人数ではありますが、農閑期を利用して夜八時過ぎより、皆心を一つにして井上先生の厳しい指導のもとに頑張っております。時には涙を隠しながら、ある時は童心のごとく笑いの止らぬ楽しいひと時、美しく老いるため、又健康法の一つとして、常に反省と感謝の気持を持ちながら、素直な心で何時までも和やかなクラブで踊りたいと思います。

ひいては、今年のテーマ「すていじ」この町、千代田町の文化を土台に美しい平和の波が延々と広がって行くことを祈念します。

春木民踊クラブ

代表 横 田 八重子



私達民踊クラブを結成して早三年の月日が夢のように過ぎ去った感じがいたします。それぞれの務めに励みながらも、お稽古だけとは皆一生懸命続けてまいりました。これもひとえに先生を始め、グループ同心のふれあいの充実したコミュニティーの姿だと、私はひそかに誇りに思っています。

いろいろの催し物に声をかけていただくたびに、お稽古の苦しさの中にも芸への楽しさを味わいながらやってまいりました。

人間働く中にも楽しさを持ち一生を送るべきだと思います。毎年の文化祭出演は私達グループの大きな行事と考えられ、責任を果たした後の安心感は言葉に現わせません。お互いの健康管理に留意し末長く続けて行く事を、会合の度に話し合っています。この度も一生懸命頑張っていくつもりです。

本條流なかよし会

代表 薬師 勝

私たちは、蔵迫、川戸地区の民謡愛好者、男10名女9名計19名のグループで本条流の流れをくむ民謡教室です。先生は唄、本条秀誠先生、三味線本条秀光先生で毎月2回第2、第4月曜日の夜蔵迫公民館で美声を張りあげ迷調子で唄っているつもりで稽古をしています。先日文化祭の話が出ましたが発足が今年五月でまだ半年たらずですのでどうかと思っておりましたが、「下手でもよい参加する事に意義がある。」と師匠の言葉に励まされての参加です。

大声を張りあげる事はストレス解消にもなり、又、腹から声を出す事は健康にもよく趣味と実益を兼ねた民謡教室に皆様も是非御参加下さい。



琴演奏

代表 井木 智由紀

「箏曲」と言うのは、なかなか進んで習えるものではないと思いますが、私達週1度の練習で現在に至っております。一寸した暇を見つけては一緒に合奏し楽しく勉強して参りました。

皆様の中で習ってみたいという方が居られましたら、是非一度遊び方々お気軽にお立ち寄り下さい。現在少ない人数ではございますが、私達なりに一生懸命勉強した成果を未熟ではございますが、じっくりと聞いて頂ける事を望んで私達の紹介を終わります。



南方喜楽会

代表 原 千代子

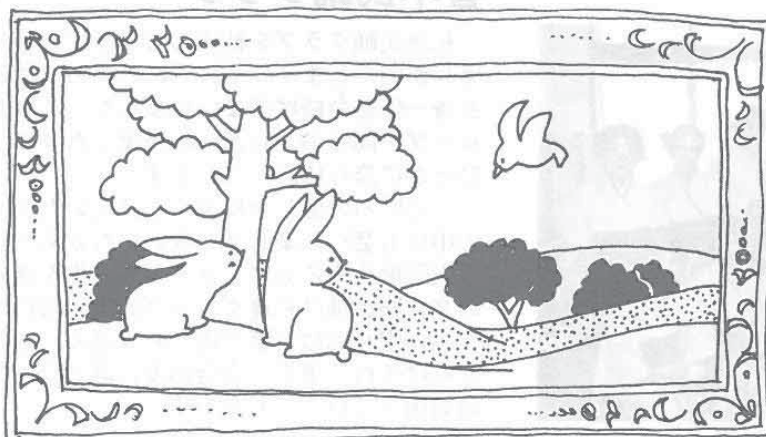
おばあちゃん達の振る銭太鼓の音もだんだんと大きな輪をつくりました。

姑さん達の腕振りを習い受け、嫁さん達もとなりどうしさそい合って、農閑期の夜長を銭の音もにぎやかに、練習をしております。会員は20名にも



なりました。「これで後継ぎができたよ」とばあちゃん達は大変よろこんでおります。

しっかりと後を継いで銭太鼓の音を高らかに、この山間の地にひびかせ続けてゆきたいものです。嫁さん達の練習ぶりに、応援を送ってくださいね。





高齢者学級 詩吟クラブ 代表 桑本 ミユキ

高齢者学級の詩吟クラブも、今年で七年目を迎えました。その間に、亡くなられた方も沢山おられ、また新しく入会された方もおられて、只今約30名の会員です。月一回の練習日には、本地の桐原、森脇両先生の指導を受けています。詩吟ばかりでなく、時には流行歌等も習い、皆カセットに吹込んで早く音を覚えるように努力しています。特に結婚式等に招かれた時、指名されても「マカセ」で祝の歌を唄われるのも、先生方のお陰で、楽しいことです。又詩吟の友が亡くなられた時も、追悼の詩を吟じさせていただきます。

昔も今も歌は生活の中から切りはなすことの出来ない、楽しい思い出となることでしょう。

これからも、次回の出演を楽しみに勉強します。



あけぼの会 代表 藤吉 君子

昭和の一桁生れは、もう激しいスポーツは無理だし、目もガラスがいるし、何かの一つ熱中したいね、と声をかけ合い呼び合って、今年の夏に誕生したのが、私達のあけぼの会の銭太鼓です。経験豊かな先生を迎えて一生懸命に練習を初めました。何分、孫を相手にする様な年令です。一つ一つの動作が出来るまでに時間がかかり自分自分の手の動きの鈍いのに悲しくなる時もありましたが、思い切って今年川戸の敬老会には披露させていただき、大変嬉しく思いました。まだまだ初めてから日も浅く、芸は未熟な私達ですが、一生懸命に頑張りたいと思っています。同志のふれあいを大切にしていつまでも仲良く続ける心算です。

。もろく 曲舞山原歌中馬紫く



女子神楽同好会 代表 柳 坪 由里美

女子は見ていただけなんてつまらない、私達も神楽をやってみよう、ということで今年6月にできたのが、この女子神楽同好会です。現在会員10名で、毎週土曜日、有田神楽団のご指導のもとに練習に励んでいます。互いに批評しながらも楽しく舞っています。これまでの練習の成果を思う存分発揮しようとみんなはりきっています。まだ未熟な私達の舞台では、ありますが応援しながら見て下さい。



千代田民謡同好会 代表 森脇 昭幸

歌詞の真の意味を理解し、昔より唄いつたえられた節付けで唄うと言う事は、仲々意義の有るものと思います。特にそれぞれ歌詞によって、その地方独特な方言の面白さも味のあるものと思われま

す。私達、千代田民謡同好会は、趣味を同じくした人達の集りで結成され、月2回の稽古に頑張っております。北は北海道から、南は九州沖縄迄、日本全国にまたがる数多くの民謡を一つ一つ味わいつつ唄いあげる私達同好会は、常に和気あいあいと楽しいひと時をすごしております。又、同好会主催による忘年会、新年会、お花見等で日頃鍛えた自慢の喉をそれぞれ披露し、お互い励まし合いながらなごやかな酒盛りで、時間のすぎるのも忘れると言った事もあります。そうです、美と健康のもとには声を出すことのように。皆さん大きく口をあけて一杯唄ってみませんか。

今年の文化祭にも、昨年同様張り切って出演させて頂き、沢山の皆さんに聞いて頂けたらと思います。

居 合 道

代表 発 春 三

居合は、約500年前山形県村山市楯岡の林崎甚助重信という人が、林崎明神に祈願して抜刀の精妙を得、林崎夢想流、又は重信流と唱えておりました。その流れをくむ無双神伝流であります。居合は常に生き生きとした業でなければならない。一刀一刀の刀勢と、その業を一貫する気魄に、その人の生命が脈々と流れてその業が生きる不断不退の精神がなければならない。千代田町でこの道に志した人達は八十有余名にのぼり、昭和49年本地において海見山居合道同好会が誕生し現在に至り、最高七段、錬士と多くの人があらゆる職場で活躍しています。

強身にて行きあたるをは下手と知れ

鞭に柳を上手とそ云う。



尺 八 と 琴

日本の伝統音楽である、尺八、琴を親しみ、愛好することにより、自分なりに精神的深まりが得られ、生活の営みの中での心の憩いの糧となっているような気がします。

今年も新しい仲間が加わっての文化祭参加となりました。



曲は日本のわらべ唄（野村正峰作曲）。尺八だけの合奏曲若人の歓び（流祖中尾都山作曲）です。

尺八・森脇・越・上西・垣内・細内・谷口（新都流尺八同好会）

琴・中野・佐渡・森分・上中・峠・高野・伊藤・道上・河内・高岡（中野社中）

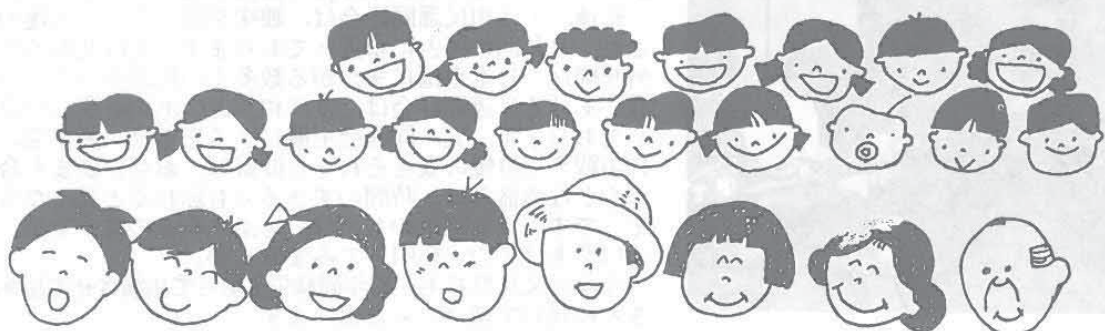
せせらぎグループ

代表 岡 谷 佳代子

さあ、歌いましょう。心の底から思いっきり歌いましょう。誰でも、いつでも、自由に参加できるコーラスの集いです。パパもママも、それに若い人ももちろんです。

みんなでいっしょに歌い、ときには踊り、唱歌から、フォークソング、ニューミュージックまで、岡谷佳代子先生を囲んでの歌声は公民館の視聴覚室いっぱいの輪にひろがってゆくのです。もう、5年も続きました。みんなで歌えばテレ屋さんのあなたも、歌嫌いのあなたも、じっと座ってはいられないはずです。

練習日 第1、3木曜昼
第2、4土曜夜



私達の文化祭も今年で11回目を迎えました。この11回全てのテーマに共通して言えるのは「私達のふるさと千代田町を思う心」がベースに流れていることだと思います。

そこで今回のステージは、ふるさとを歌い上げるコンサートに構成してみました。音と光のファンタジーをぜひお楽しみ下さい。

土田 悦治

お元気ですか、ご無沙汰しています。土田です。

僕は千代田に来ると、なつかしい風景の中で胸が痛くなるのを覚えます。それは僕が帰りたがらない竹原へ帰ったような気持ちになるからです。僕には田舎におやじとおふくろが二人で住んでいます。幸せなことになんとか元気です。僕は長男で末っ子です。親不孝しています。この頃、田舎の夢をよく見ます。小学校の頃歩いて通った景色は大体全部出て来ました。僕はおやじが田んぼのあぜ道で枯れ草を焼いていた臭いが大好きです。これが僕のふる里です。

プロフィール

S33, 2, 14生まれ

水がめ座, 広島県竹原市出身, 24才



八重東青羊会

山本くみこ

大島は私が生まれ育った町です。小さい頃、泣き虫で、泣きながら歩いた田んぼ道や、めだかとりをしたため池は、今でも残っています。世の中の移り変わりについていけなかったこの島から、若者は働き場所を求めて、大阪や東京へ出ていってしまいました。私もその一人で、昨年五月まで神戸で働いていました。そんな私がこの島へ帰ろうと思ったのは、私の母校「白木分校」が二年後に廃校になることを知ったことが、きっかけになりました。島に帰ってみると、保育園も園児が減ったことが原因で、何年かするとなくなることわかりました。過疎化がどんどん進んでいって、わずかに残った私達だけでも、この島を愛することが出来たらいいなと思っています。少しずつですがうたをうたっていこうと思っています。

プロフィール

S33, 3, 20生まれ

◎高校卒業後、神戸の灘神戸生活協同組合で働く。旅行にいき、ひょんなことで、みんなの前で唄ったら、うけて、コンサートに出演する、それがきっかけで神戸で、定期的に数人でコンサートをはじめる(19才)

56年5月に大島に帰り、現在下田郵便局でアルバイトをし、休みの日は家のみかんの仕事を手伝っている。

◎チャームポイント→出歯, 小さな目

◎ギターとの出会い、中学1年の時父が親せきの家からボロボロのピックギターを私のためにかりてきてくれた。それから12年、少しも進歩がない。住所 山口県大島郡東和町長崎



春秋楽団

生まれた場所をふるさととするならば、僕のふるすとは、広島と横浜になるので、その印象もそれぞれなので、ただ僕らの歌や演奏の中に現われる情景としてのふるさとと言う土地は、大変大きな波を持っているのは確かだと思います。その情景は、自分がなぜそこにいるのか、いったいいつの事なのか、などがはっきりしないがゆえに、ことさら神秘的に思えてくるのです。また今につなげるその思いが僕らに歌を書かせ、歌わせるのではないかと思います。



青年会の紹介

南方青年会

南方の若さのシンボル、青年会／村の若者が集まって総勢20名、うち女性4名。ところで、最近の会合出席率の低さは何によるものか。今年度、にわか会長となった私も、考えさせられることである。役員力量不足、「うーん、おおいにありうる。」青年会活動の魅力の欠如、「そうかもなあー。」しかし私には聞こえるような気がする、「もっと…もっと女性会員を！」という、男性諸氏の切実な、声なき声。



問題は多いが、今年度も既に、新入会員歓迎ボーリング大会、本田校長先生をお招きしてのやきもの教室、夏のキャンプ、難産ではあったが来年からの、南方地区行事システムの改革をするきっかけとなった、盆踊り大会、等々を実施しており、この土地を“すていじ”として生きる我々は、女性不足にもめげず、千代田のよりすばらしい未来を願い、ファイトをもって活動していきたい。

八重東青年会

私達八重東青年会は、現在20名程度の会員がいます。実際に活動しているのは10名に満たないのが現状です。

今年は、ここ数年、活動状況が悪かったのを反省して、みんなで楽しめる事をしようということで、まずソフトボールを、八重東小学校の夜間照明を使って始めました。夏には、毎年行っている盆踊りの練習を二週間位やりました。しかし、ここ数年確保できる人数が減少してきています。高校や、大学を卒業する人数が減ったのか、それとも千代田で就職するところがなくて帰らないのか、非常に人集めに苦しんでいます。

同じ町内、地域に住む同世代の若者がもっともっと多く集まり、同じ目的をもって、時には学び、時には遊び、そして千代田の将来を私達が創っていくんだという情熱をもてる千代田にしていきたいものです。みなさん青年会にどんどん入って頑張りましょう。



八重青年会

私達八重青年会は、去年は「和」という目標をあげ、今年は「仲間づくり」を合言葉に、一人でも多くの仲間をつくり団結していかなければいけない。今では人数も15人程度しかいないが、盆踊り・管絃祭・キャンプ・バザー・文化祭など皆が協力し合い取り組むということは、何事においても、大切な事だと思います。その中から、多くの友人ができるのではないのでしょうか。

昨年文化祭では原点に帰り、千代田をみつめました。が、これからは現在を見つめなければいけないのではないのでしょうか。一明日はわからない、今どうやって生きていくか、ということを考えなければいけないのではないのでしょうか。一



本地青年会

会員委員実務分文

私達本地青年会は、今年新入会員が多く加わりその人数は総勢30名近くの大所帯になりました。

この中身は、底抜けに明るいやつ・にぎやかなやつ・おしとやかなやつ・まじめなやつ・根暗なやつ・ルンルン気分なやつ・まともなやつ・などなど色々バラエティーに富んだユニークな集りで、これがより一層楽しい青年会にしています。

しかし、全員揃うことはなかなかありませんが、まあこんな形で我々青年会は、地区の行事、千青連の行事、青年会個々の行事など色々な行事を行い親睦を深めながら活動を続けています。

またこれからも色々な事を行いながらにぎやかで楽しい青年会を続けて行こうと思います。

それから今年の文化祭には、劇「麦わら大蛇」を行います。

これは、昔話を元にして脚本・演出したものです。

さてストーリーとは言いますと、此らの方は是非会場で御観覧下さい、それでは宜しく御願ひします。



川迫青年会

私達は、よく昔の青年団の話聞かされます。その活動は、すさまじいもので、地域的な存在価値は大きなものがあつたそうです。今の青年会は……？ 実際地域住民との接触は少なく、その影は非常に薄いもので、青年会の存在すら知らない人達がいたことは、とても残念でした。

そこで私達川迫青年会は、その解消方法の1つとして、川迫コミュニティ振興会と接触を通し、地域住民へのアピールでした。その手始めが、夏の盆踊り大会への協賛や、各催し物への積極的参加にありました。そのかいあってか今ではしだいに青年会としての位置付けが出来たようです。一方そのおおりが、千青連との接触が薄れているという結果を生んでしまい今後の川迫青年会の大きな問題となっています。

11月には文化祭という行事も控えていることすし、千代田町青年連合会の一つとしても、一致団結した活動を目指として、頑張るつもりです。



壬生青年会

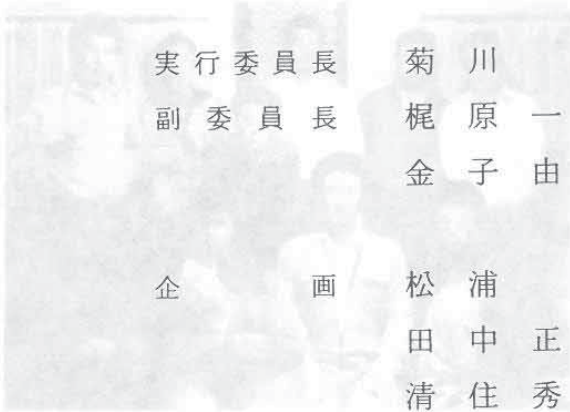
私達の壬生青年会は会員20名余りで、毎週木曜日午後8時から、文化活動、スポーツ活動を楽しんでいます、会員それぞれに他の活動がいろいろあり、全員がそろふことはなかなかないのが現状です。

今回の文化祭では、当日祭のステージで「千代田町についてのスライド映画」を制作しようと取り組んでみたものの、千代田町について考えれば考えるほど整理できなくなり、10月16日現在全く形になっていないのが実態です。暗中模索の中で壬生青年会が作り上げようとしているスライド映画「すていじ」。どんな形で皆さんの目の前に登場しますか？期待と不安の中で、今日も制作に取り組んでいます。



文化祭実行委員会

会手青紙本



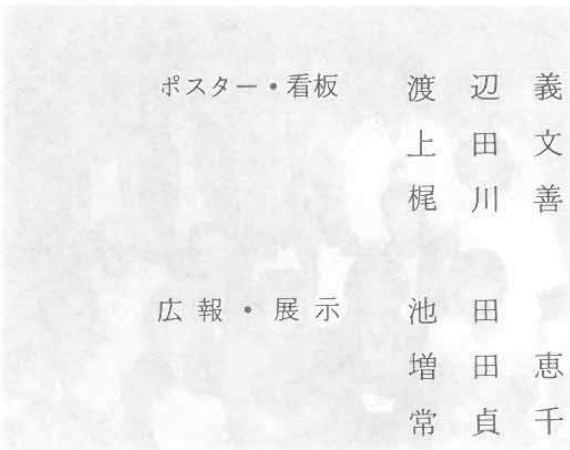
実行委員長 菊川 敏
副委員長 梶原 一司
金子 由美
企画 松浦 誠
田中正 基
清住秀 久
本原昭 公
石坪隆 雄
佐々木 波江

パンフレット

佐々田 和志
春田 法昭
石丸 隆志
中上 みゆき
宮野 智実

マップ

竹盛 英幸
信上 英昭
浜田 浩二
仲川 雅利
吉松 諭高
伊勢坊 誠美
宮本 明美
森下 由美



ポスター・看板 渡辺 義男
上田 文雄
梶川 善文
広報・展示 池田 太二
増田 恵千
常貞 千鶴

会計 宗政 保子

●千代田町中央公民館
コミュニティー協力員



編集後記

千代田まつりにむけ、話し合いを進めている中で、まつり当日野菜即売の準備をしている団体のある婦人から、「今年も、千代田まつりに出そう思うて、いっぱい野菜を作って待つとるんよ」といううれしい話を聞きました。

千代田まつりも、第2回目を迎え、少しずつではありますが、町民のみなさんのまつりとして、定着しつつあるように思えます。

関係者のご協力により、盛大なまつりになりましたことに対し、厚くお礼申し上げます。

千代田まつりを機会に、これからも「郷土への讃歌」をみなさまと共に、ここから、うたいあげたいものです。

千代田まつり実行委員会

今年の文化祭は、第11回という新たなスタートをしました。

9月始めから実行委員会を開いているうちに、新たな出発にふさわしいテーマ『すていじ』—この町を土台にして—が決まり、今までみんなで進めてきました。このすばらしい文化祭が開催できるのも、町内の皆様、関係者の皆様の御指導と御協力によるものです。

来年に向っての良い足場ができたような気が致します。本当にありがとうございました。

文化祭実行委員会

すていじには

沢山のヒーローやヒロインが集まった
これから青春のショーが
始まるうとしている

人が人として生きるとき
最高のすていじが生まれる
今、私はこのステージに生きる

として、
未来に向かって歩きはじめる
すていじ——それは私の人生の全て

みさこ

1982